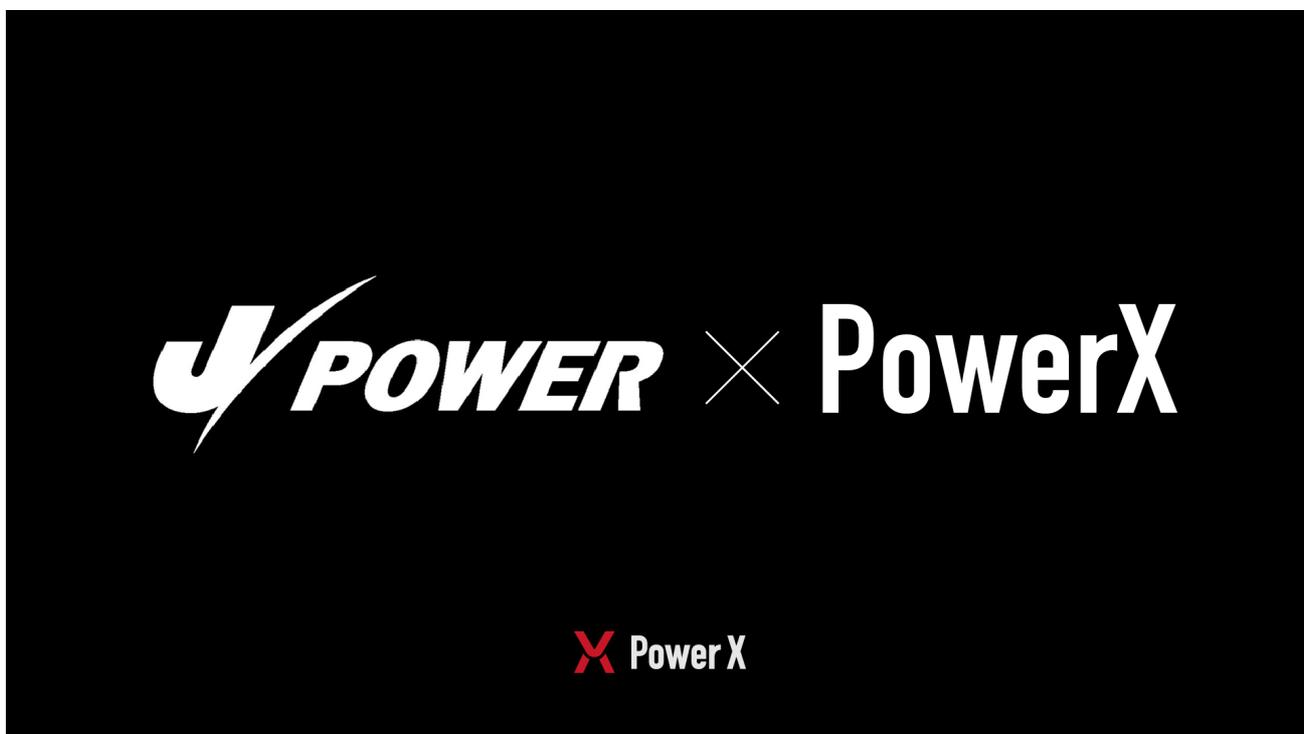


報道関係者各位

自然エネルギーの爆発的普及を実現する「株式会社パワーエックス」 「Jパワー」より出資が決定

自然エネルギーの普及並びに蓄電、送電技術の進化において新規事業を展開する株式会社パワーエックス (PowerX, Inc.) (東京都港区、取締役兼代表執行役社長 CEO：伊藤 正裕、以下当社)は、電源開発株式会社 (東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：渡部 肇史、以下Jパワー) より出資を受けることが決定いたしましたので、お知らせいたします。



日本政府が公表した 2022 年度の電力需給の見通しによると、夏と冬は全国的に電力不足になる可能性が高く、今夏は、東京や東北、中部エリアにおいてピーク時の電力予備率が 3.1%と予測され、安定供給の余力がない状況です。今冬はさらに状況が厳しくなり、全国 7 エリアで安定供給に最低限必要な予備率 3%が確保できていないと想定されています*1。

また、電力需給が逼迫する中、昨今の国際情勢により燃料調達動向の変動が激しく、調達リスクが高まっています。そのような背景から再生可能エネルギーなど、脱炭素の効果が高い電源の最大限な活用が期待され、再生可能エネルギーの出力変動の調整に大きな役割を担う定置用蓄電池の導入が必要とされています。

当社は、先日発表した大型蓄電池組立工場「Power Base」を岡山県玉野市で建設し*2、安全性や経済性の両立を実現した蓄電池製品を 2024 年春から大量生産し、新たな「エネルギーソリューション」の構築やサー

ビス展開を行います。この度は、Jパワーの出資により、相互の協業の可能性を検討するため、Jパワーの多様な発電資産および発電事業等で培ってきた技術やノウハウを情報交換しながら、再生可能エネルギーの普及を支えるインフラビジネスの創出を目指してまいります。

※¹参考：経済産業省 資源エネルギー庁「2022年度の電力需給見通しと対策について」

※²: パワーエックス | 岡山県玉野市に蓄電池組立工場「Power Base」を新設：https://power-x.jp/ja/news/pdf/PowerX_jp_20220623_1.pdf

Jパワーについて

Jパワーは、約70年にわたり低廉かつ安定した電力を供給するとともに全国で基幹送電線の建設・運用を行い、わが国の経済発展と国民生活の向上に貢献してきた電力会社です。エネルギーを取り巻く事業環境の変化を捉え、最新技術の導入や新たな事業領域への挑戦など創意工夫を重ねてグローバルに成長を続け、また、2021年2月に公表したJ-POWER“BLUE MISSION 2050”に基づいて再生可能エネルギーの拡大等の取り組みを進め、2050年カーボンニュートラル実現に貢献していきます。

URL：<https://www.jpowers.co.jp/>



会社名：株式会社パワーエックス (PowerX, Inc.)

URL：<http://power-x.jp/>

設立：2021年3月22日

代表者：取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕

所在地：〒107-6243 東京都港区赤坂 9-7-1

ミッドタウン・タワー 43F

事業内容：大型蓄電池の製造及び販売、

電気運搬船の開発及び製造